|  |
| --- |
| 実技課題「訓練課題名　電気系保全作業」　概要説明 |

* この訓練課題においては、制御回路の組立、機械の電気部分に生じる欠陥の発見および異常時における対応処置に関する実務能力を評価する。そのため、

①「有接点シーケンス回路の製作」

②「リレー・タイマ単体の点検作業」

③「有接点シーケンス回路の点検作業」

を行っていきますが、その課題作成にあたり、

**E-20A**「配線を訓練生に作成して貰い、その作業盤を用いて点検作業を行う方法」

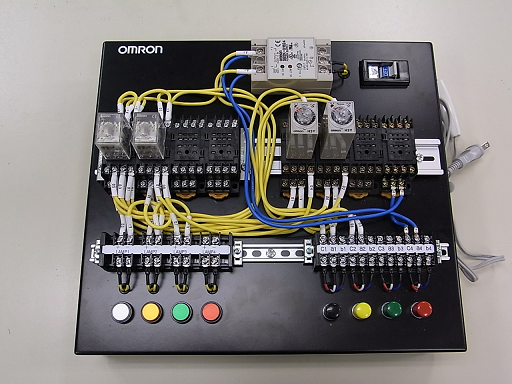
（採点・評価は、①～③を全て行います。）

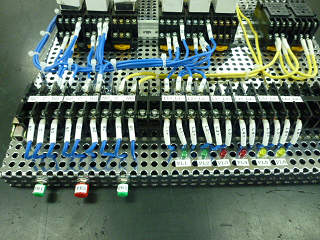
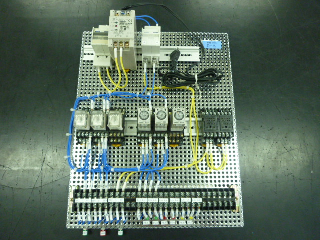
**E-20B**「あらかじめ指導員で作業盤の配線を行い、点検作業のみを行う方法」

（採点・評価は、②～③を行います。）

の方法を提案しますが、どちらの方法であっても、最終的な点検作業の確認が行えれば「可」とします。

* 以下は、①「有接点シーケンス回路の製作」においての外観のイメージ写真です。  
  このような感じの作業盤を準備して頂き、各施設で対応して下さい。

* E-20A、E-20Bの課題を用意しましたので、どちらの方法で実施されるかは、各施設のシーケンス機器の数量に応じて対応して下さい。